



10～11月 ツキヨタケ

## キノコの誤食による食中毒



きのこの食中毒は中部日本以北、特に東北、北海道地方で発生しています。九州ではきのこ狩りをしてきのこを食べるという習慣はほとんどありません。しかし、九州でも「ツキヨタケ」による食中毒が時々発生しています。ツキヨタケは福岡市近辺では10～11月に背振山や四王子山近辺のブナの倒木などにみることができます。シイタケやヒラタケ、ナラタケと間違いやすくきのこ類の中では誤食により中毒が最も多いといわれています。

ツキヨタケには、

- ①縦に裂くと柄の中心部の肉に黒いしみがある。
- ②ひだが柄と接する当たりにつば状の隆起がある。
- ③新鮮なもののひだは暗所で発光している。

といった形態的特徴があります。毒性は強く死亡例もあります。



シイタケやヒラタケ、ナラタケと間違いやすい



毒性は強く死亡例もあります

